

今週のテーマ

1. 一週間のまとめ
 - (1) 与党陣営の動き
～マドゥロ政権 危険因子を拘束～
..... 1p
 - (2) 野党陣営の動き
～ゴンサレス候補 まだ西に滞在か～
..... 3p
 - (3) 外国の動き
～トランプ政権 やはり強硬対応?～
..... 4p
 - (4) 今週、来週の主なイベント
..... 5p
 - (5) 債券の元利不払い状況
..... 6p
2. 米国の対ベネズエラ制裁制度まとめ
..... 7p

債券指標の動き

3. ベネズエラ債券・経済指標の増減
..... 13p

カントリーリスク分析



(写真) Shutterstock

“2024年12月時点の米国の対ベネズエラ制裁状況まとめ”

一週間のまとめ(2024年12月15日～12月21日)

(1) 与党陣営の動き ～マドゥロ政権 危険因子を拘束～

カトリック教徒が9割を占めるベネズエラでは、クリスマスは1年間で最も重要な家族イベントである。

クリスマスに親族が集まり、1年の労をねぎらい、来年の多幸を祈念するのが一般的で、マドゥロ政権は「人道的な配慮？」の観点からか例年この時期に多くの政治犯を解放する。

2024年も例年通りクリスマスを前に、大統領選後の抗議行動に関連して逮捕した野党支持者らの解放が続いている。

POINT

12月16日 タレク・ウィリアム・サアブ検事総長は、抗議行動で拘束した活動家179名を解放したと発表した（「[ベネズエラ・トゥデイ No.1156](#)」）。サアブ検事総長の発表によると、これまでに533名の拘束者が解放されたという。

検察庁は、大統領選後の抗議行動を理由に2400人超を拘束したと発表しており、今も1900名前後が拘束されたままということになる。

マドゥロ政権 これまでに533名の拘束者を解放。

なお、この時期に知名度の高い政治犯を解放することが多いが、2024年については知名度の高い政治犯は解放されておらず、マドゥロ政権は若年層の一般人を中心に解放しているようだ。

このように拘束者を解放する一方で、野党政治家の拘束は現在も続いている。

一方、抗議行動の計画立案などで中心的な役割を担う野党政治家を次々と拘束。

12月10日 マドゥロ政権は、人権団体「制限のない市民（Ciudadanía Sin Límites）」や「都市モニター（Monitor Ciudad）」の代表として活動していた Jesús Armas 氏を拘束した。Armas 氏は、野党のリーダーであるマリア・コリナ・マチャド氏（以下、MCM）の選挙キャンペーンで重要な役割を果たした人物と認識されている。

また、12月14日には MCM 氏が発足した政党「Vente Venezuela」でチャカオ市の活動を統括する Luis Palocz 氏を拘束した（「[ベネズエラ・トゥデイ No.1155](#)」）。

反政府活動の準備を妨害している。

日本企業が多く集まっているチャカオ市は野党の牙城でもあり、抗議行動はチャカオ市を中心に展開され、他地域に派生する。

2025年1月10日以降、ベネズエラの政治情勢が不安定になることが予見される中、MCM 氏の活動を支援する Armas 氏や、チャカオ市での反政府活動を統括する Palocz 氏を拘束することで、MCM 氏の反政府活動を妨害することが狙いと思われる。

POINT

12月20日 ゴンサ
レス候補はスペインの
José Manuel Albares
外相と協議。

少なくとも12月20
日の時点ではベネズエ
ラに戻っていない。

MCM 氏は引き続き所
在不明。インターネッ
ト上で活動が確認でき
るのみ。

(2) 野党陣営の動き ～ゴンサレス候補 まだ西に滞在か～

大統領の新任期が始まる2025年1月10日まで3週間を切った。

大統領選の勝利を主張しているエドムンド・ゴンサレス候補は、「2025年1月10日にベネズエラに戻り大統領就任を宣誓する」との意思を示しているが、マドゥロ政権はゴンサレス候補に指名手配をかけており、仮にベネズエラに入国した場合、ゴンサレス候補は拘束されることになる。

「本当にゴンサレス候補はベネズエラに帰国する（できる）のか」は、国内外にとって大きな関心事となっている。

本件について、ゴンサレス候補は自身のソーシャルメディアアカウントにて「スペインの José Manuel Albares 外相と会談した」「ベネズエラの政治犯解放を求め、ベネズエラが国際権を守ることを求めるという EU 及びスペインの立場を確認した」と写真付きで投稿しており、少なくとも12月20日の時点でゴンサレス候補はまだスペインに留まっているようだ。



(写真) @EdmundoGU

POINT

トランプ次期大統領
「マドゥロ政権が移民
送還に応じない場合は
強烈な経済制裁を科
す」と発言。

トランプ政権は、マド
ゥロ政権に強硬な態度
で対応するよう見え
る。

なお、MCM氏は引き続き所在不明だが、ソーシャルメディアでは頻繁に政治犯の解放を求める投稿を続けている。

また、外国メディアのインタビュー番組に出演しており、「2025年以降、マドゥロ政権は国際社会で孤立した状態になる」と主張。「マドゥロ政権の崩壊が近づいている」との見解を示している。

(3) 外国の動き ～トランプ政権 やはり強硬対応?～

12月16日 トランプ次期大統領は、大統領当選後、初めて記者会見を実施。同記者会見にてベネズエラの移民問題と制裁について言及した。

トランプ次期大統領は、マドゥロ政権に対して移民送還に協力するよう命令。「仮に移民送還に協力しない場合は、強烈な経済制裁を適用する」と圧力をかけている ([「ベネズエラ・トゥデイ No.1156」](#))。

一方、マドゥロ大統領は、トランプ次期大統領の当選後に「トランプ新大統領の注力すべき職務は米国を偉大な国にすることだ」「そのためにベネズエラは協力する意思がある」と述べており、移民送還に協力する姿勢を示している ([「カントリーリスク・レポート No.381」](#))。

マドゥロ大統領が協力的なメッセージを発信している一方で、トランプ大統領は高圧的なメッセージを発信しており、敢えて問題解決を困難にしている印象を受ける。やはりトランプ政権はマドゥロ政権と「協力」というより「敵対」のスタンスで対応することになりそうだ。

なお、米国にて、次期トランプ政権の対ラテンアメリカ政策に関するセミナー「トランプ2.0：中米・キューバ・ベネズエラの挑戦と見通し」が開催された。

同セミナーには3人の講師が登壇したが、3名はともにトランプ次期大統領がニカラグア・キューバ・ベネズエラに強硬な対応を執ると予想している ([「ベネズエラ・トゥデイ No.1157」](#))。筆者も個人的には、トランプ政権はマドゥロ政権に対して強硬な対応を執るのではないかと想像している。

（４）今週、来週の主なイベント

12月19日 スイス政府とエクアドル政府は、ベネズエラにおけるエクアドル政府の外交業務をスイス側が一部引き受けることで合意した（「[ベネズエラ・トゥデイ No.1157](#)」）。つまり、エクアドルのノボア政権とマドゥロ政権の交渉に関して、今後はスイス政府が介入することになる。

マドゥロ政権は、在ベネズエラ・アルゼンチン大使公邸で保護されている MCM 氏の関係者 6 名の国外出国を許可する条件として、エクアドルのノボア政権が在エクアドル・メキシコ大使館から強制的に拘束した Jorge Glas 元副大統領（ラファエル・コレア政権当時の副大統領）の解放を挙げている。ただし、ノボア政権とマドゥロ政権の外交関係は断絶しており、直接交渉は出来ない。

メキシコ政府とエクアドル政府も外交関係が断絶しておりスイス政府が仲裁をしている。このような背景もあってスイス政府がノボア政権とマドゥロ政権の外交交渉を仲裁することになったと思われる。

表： 12月15日～12月21日に起きた主なイベント

日付		内容
12月	15日	日 マドゥロ政権 コミューン平和判事選挙を実施
	16日	月 検察庁 野党活動家179名の解放を発表
	17日	火 カナダ政府 マドゥロ政権関係者5名に個人制裁
	18日	水 マドゥロ政権 石油省を炭化水素省に改名
	19日	木 スイス ベネズエラにおけるエクアドルの外交業務を一部引き受け
	20日	金
	21日	土

表： 12月22日～12月29日に予定されている主なイベント

日付		内容
12月	22日	日
	23日	月
	24日	火 クリスマス・イブ 国民の祝日
	25日	水 クリスマス 国民の祝日
	26日	木
	27日	金
	28日	土
	29日	日

(5) 債券の元利不払い状況

表：ベネズエラ債券の債務不履行額（12月20日時点）

（単位：100万ドル）

種類	債券	満期	利率	各年利払日	元本	利息	合計
国債	国債19	19年10月13日	7.75%	4/13 10/13	2,495	1,450.2	3,945.2
	国債24	24年10月13日	8.25%	4/13 10/13	2,495	1,543.8	4,038.8
	国債25	25年4月21日	7.65%	4/21 10/21	1,600	979.2	2,579.2
	国債26	26年10月21日	11.75%	4/21 10/21	3,000	2,291.3	5,291.3
	国債23	23年7月5日	9.00%	1/5 7/5	2,000	1,260.0	3,260.0
	国債28	28年5月7日	9.25%	5/7 11/7	2,000	1,387.5	3,387.5
	国債18	18年12月1日	7.00%	6/1 12/1	1,000	560.0	1,560.0
	国債20	20年12月9日	6.00%	6/9 12/9	1,500	675.0	2,175.0
	国債34	34年1月13日	9.38%	1/31 7/13	1,500	984.4	2,484.4
	国債31	31年8月5日	11.95%	2/5 8/5	4,200	3,513.3	7,713.3
	国債18	18年8月15日	13.63%	2/15 8/15	300	286.1	586.1
	国債18F	18年8月15日	13.63%	2/15 8/15	752	717.2	1,469.2
	国債22	22年8月23日	12.75%	2/23 8/23	3,000	2,677.5	5,677.5
	国債27	27年9月15日	9.25%	3/15 9/15	4,000	2,590.0	6,590.0
	国債38	38年3月31日	7.00%	3/31 9/31	1,250	612.5	1,862.5
グレースピリオド満了未払					31,092	21,528.0	52,620.0
種類	債券	満期	利率	各年利払日	元本	利息	合計
PDVSA債	PDVSA26	26年11月15日	6.00%	5/15 11/15	4,500	2,025	6,525.0
	PDVSA24	24年5月16日	6.00%	5/16 11/16	5,000	2,250	7,250.0
	PDVSA21	21年11月17日	9.00%	5/17 11/17	2,394	1,616	4,010.0
	PDVSA35	35年5月17日	9.75%	5/17 11/17	3,000	2,194	5,193.8
	PDVSA220	22年2月17日	12.75%	2/17 8/17	3,000	2,869	5,868.8
	PDVSA27	27年4月12日	5.38%	4/12 10/12	3,000	1,209	4,209.4
	PDVSA37	37年4月12日	9.75%	4/12 10/12	1,500	1,097	2,596.9
	PDVSA22	22年10月28日	6.00%	4/28 10/28	3,000	1,440	4,440.0
	PDVSA20	20年10月27日	8.50%	4/27 10/27	1,684	1,145	2,828.8
グレースピリオド満了未払					27,078	15,844.7	42,922.5
	電力債18	18年4月10日	8.50%	4/10 10/10	650.0	386.8	1,036.8
グレースピリオド満了未払					650.0	386.8	1,036.8
合計					58,820	37,759	96,579

（出所）Av Security よりベネインベストメント作成

POINT

2. 米国の対ベネズエラ制裁の制度まとめ

今週の「[ウィークリーレポート No.386](#)」にて、2024年の5大政治ニュースを紹介した。同レポートでも触れたが、2024年は7月28日に行われた大統領選を中心に物事が進んだ1年だったと言える。

2023年当時、米国のバイデン政権は、ベネズエラの大統領選に向けて与野党交渉を進展させるために制裁緩和を進めたが、2024年にはマドゥロ政権が米国・野党の望む通りに行動しないため制裁を再び強化。

結局、多くの疑念を残しながら「選挙管理委員会（CNE）」はマドゥロ大統領の再選を発表。野党はこの結果を拒絶しており、1月10日の新任期にエドモンド・ゴンサレス候補が大統領に就任すると主張しているが、2025年以降もマドゥロ大統領がベネズエラを統治することになるだろう。

本稿「2. 米国の対ベネズエラ制裁の制度まとめ」で米国の対ベネズエラ制裁制度の最新状況を確認したい。なお、次号にて2024年にベネズエラ制裁がどのように修正されたのかについて詳しく振り返ってみたい。

ベネズエラ制裁の現状について紹介する前に、制裁に関する3つの重要用語「行政命令（Executive Order）」「SDN リスト」「制裁ライセンス（General License）」について確認したい。

「行政命令」が、一般的に「制裁」と言われるもので、取引を制限する根拠となる。現在、ベネズエラに関連した行政命令は7つ存在する（次ページ参照）。

「SDN リスト」とは、行政命令で定められた禁止事項に抵触した個人・法人あるいは当該個人・法人が所有する飛行機や船舶をリスト化したもの。SDN に載っている人物は、米国への入国が禁止され、米国域内の資産は凍結される。また、米国の個人・法人はSDNに入っている関係者との取引が禁止される。加えて、SDNに入っている飛行機や船舶は差し押さえの対象になる。

「制裁ライセンス」は、特定のテーマに限り、例外的に制裁適用を免除する決まり。「〇月〇日以降に禁止が解除される」と将来の日付を指定し、その期限がくる前に更新を繰り返すことで「事実上の禁止措置」として扱うことも多い。

行政命令：制裁の具体的な禁止事項を定めたもの。

**SDN リスト：米国政府
が定める制裁事項に抵触したとされる個人・法人・飛行機・船舶。**

制裁ライセンス：行政命令の適用を例外的に免除することを定めたもの。

表： 米国がこれまでに発効したベネズエラ制裁に関するリーガルフレームワーク（行政命令）

発効日	No.	タイトル	政権
15年3月8日	13692	：ベネズエラ問題に関与する個人の資産凍結・入国禁止について	オバマ
概要	制裁対象者の資産凍結・米国への入国禁止。 マドゥロ政権に対する初めての制裁。当時はマドゥロ政権の政府高官のみを対象としており、PDVSA・ベネズエラ政府など組織は対象となっていなかった。		
17年8月24日	13808	：ベネズエラ問題に関する追加制裁について	トランプ
概要	PDVSAへの90日以上期間の融資禁止。ベネズエラ政府への30日以上期間の融資禁止。ベネズエラ2036年債（16年12月に発行した債券）の取引の禁止。ベネズエラ政府（PDVSA含む）向け配当金あるいは利益送金の禁止。ベネズエラ政府（PDVSA含む）が直接的、間接的に所有している債券購入の禁止。		
18年3月19日	13827	：ベネズエラ問題に関する追加制裁について	トランプ
概要	18年1月8日以降にベネズエラ政府が発行したデジタル通貨、デジタルコイン、デジタルトークンの商取引、融資、その他取引の禁止。		
18年5月21日	13835	：ベネズエラに関する特定取引の禁止について	トランプ
概要	ベネズエラ政府に負っている全ての債務（ベネズエラ政府が保有する債権のこと）の購入の禁止。ベネズエラ政府に負っている全ての債務（売掛金を含む）を担保とする取引の禁止。ベネズエラ政府が50%超の支配権を持つ株の販売、移転、譲渡、担保の禁止。		
18年11月1日	13850	：ベネズエラ問題に責任のある特定個人・法人の資産凍結について	トランプ
概要	ベネズエラのGOLD産業および米国財務省・国務省が定める特定産業に起因する資産の凍結。制裁対象産業・関係者への財・技術サービス・融資の禁止。		
19年1月25日	13857	：ベネズエラの緊急事態に対応する追加措置について	トランプ
概要	大統領令13692(d) Sec.3、大統領令13808(d) Sec.3、大統領令13827(d) Sec.3、大統領令13835(d) Sec.3、大統領令13850(d) Sec.6の「ベネズエラ政府」の定義の変更。「ベネズエラ政府（公的機関・中銀・PDVSA等）を間接的に支援する個人・法人」も制裁対象に追加。		
19年8月5日	13884	：ベネズエラ政府の資産凍結について	トランプ
概要	米国にあるベネズエラ政府の資産は、全て凍結。 米国の法人・個人は、ベネズエラ政府の資産に触れてはいけない。		

POINT

2024年12月現在の 対ベネズエラ制裁

- ・行政命令：7件
- ・制裁対象：387件
(個人179件、法人
100件、飛行機55
件、船舶53件)

- ・現在も有効な制裁ラ
イセンス：29件

次に「SDN リスト」について確認したい。

2024年12月22日現在、ベネズエラは387件(個人179件、法人100件、飛行機は55件、船舶は53件)がSDN リストに登録されている。

2023年末時点では、ベネズエラは318件(個人142件、法人68件、飛行機は55件、船舶は53件)がSDN リストに登録されていた。

つまり、2024年中にSDN リストに入っていた飛行機・船舶の数は変わらなかったが、個人は37名、法人は32社増えたことになる。

2024年12月22日現在のSDN リストは「SDN 対象者リスト」を参照されたい。

なお、ベネズエラの国営企業は原則、「ベネズエラ政府(政府が50%以上の株式を保有している)」の定義に入るので、制裁対象と理解される。

そのため、ベネズエラ国営企業がSDN リストの「法人」に入っていなかったとしても、基本的には制裁対象になっているので注意されたい。

最後に「制裁ライセンス」について確認したい。

ベネズエラについて、これまで45件の制裁ライセンスが発行されてきた。

なお、2024年は制裁ライセンスの更新はあったが、新たに発行された制裁ライセンスはない。

45件の制裁ライセンスのうち、12件は「失効(ライセンスで定めた期限が切れた状態)」。4件は「取り消し(何らかの理由でライセンス自体を撤回した)」。現在も有効な制裁ライセンスは29件となっている。詳細は次ページを参照されたい。

なお、水色で塗られている制裁ライセンスは、2024年中に更新された制裁ライセンス、オレンジ色は「失効」、緑色は「取り消し」された制裁ライセンスである。

表： 米国政府によるベネズエラ制裁ライセンスリスト

2024年12月22日

最新更新日	ライセンス	概要	状況	期限
2017年8月25日	ライセンス 1	ベネズエラ政府、PDVSAへの融資の特例措置	失効	2017年9月24日
2019年8月5日	ライセンス 2 A	PDV Holdings、CITGOの債券・有価証券発行の特例措置		年 月 日
2023年10月18日	ライセンス 3 I	ベネズエラ債券取り扱い、融資提供に対する特例措置		年 月 日
2019年8月5日	ライセンス 4 C	制裁対象者との食料・医薬品・医療資材等取引の特例措置		年 月 日
2024年11月7日	ライセンス 5 Q	PDVSA 20年満期債に対する特例措置		2024年11月12日
2020年1月7日	ライセンス 6 A	Globovisionとの取引特例措置	失効	2020年1月21日
2019年8月5日	ライセンス 7 C	PDV Holdings、CITGOとの取引に対する特例措置		年 月 日
2024年11月7日	ライセンス 8 O	米国石油事業者のベネズエラ事業に対する特例措置		2024年11月15日
2023年10月18日	ライセンス 9 H	PDVSA社債（カラカス電力含）の取り扱いに対する特例措置		年 月 日
2019年8月5日	ライセンス 10 A	ベネ在住米国人のPDVSA燃料購入に対する特例措置		年 月 日
2019年1月28日	ライセンス 11	外国企業でベネズエラ事業を行う米国人への特例措置 米金融機関が米国域外企業の送金取引を送金できる特例措置	失効	2019年3月29日
2019年1月28日	ライセンス 12	PDVSAからの原油・石油製品輸入に対する特例措置 PDVSAとの契約・財・サービス輸入に対する特例措置	失効	2019年4月28日
2020年4月3日	ライセンス 13 E	Nynasとの取引に対する特例措置	取消	年 月 日
2019年1月28日	ライセンス 14	米国公用職員の特例措置	取消	年 月 日
2020年3月12日	ライセンス 15 C	クレジット会社とベネズエラ国営銀行の取引に対する特例措置		年 月 日
2020年3月12日	ライセンス 16 C	国営銀行への個人送金の特例措置		年 月 日
2019年3月22日	ライセンス 17	国営銀行との取引停止のために必要な活動に関する特例措置	失効	2019年5月21日

(出所) 米国 外国資産管理局 (OFAC) サイトよりベネインベストメント作成

表： 米国政府によるベネズエラ制裁ライセンスリスト

2024年12月22日

最新更新日	ライセンス	概要	状況	期限
2019年8月5日	ライセンス 18 A	Fondo de Ahorro Provincialとの取引に対する特例措置		年 月 日
2019年4月17日	ライセンス 19	ベネズエラ中央銀行との取引停止に必要な活動に関する特例措置	失効	2019年5月17日
2020年1月21日	ライセンス 20 B	国際組織によるベネズエラ政府との活動に対する特例措置	取消	年 月 日
2019年8月5日	ライセンス 21	金融機関による凍結口座からの手数料差し引きに関する特例措置		年 月 日
2019年8月5日	ライセンス 22	国際連合によるベネズエラ事業に対する特例措置		年 月 日
2019年8月5日	ライセンス 23	外国政府外交官、領事館の送金に対する特例措置		年 月 日
2019年8月5日	ライセンス 24	ベネズエラ政府が関与する通信・Eメールに対する特例措置		年 月 日
2019年8月5日	ライセンス 25	通信に必要なソフトウェア・ハードウェアの輸出に対する特例措置		年 月 日
2019年8月5日	ライセンス 26	緊急事態におけるベネ政府関係者が関与する医療対応の特例措置		年 月 日
2019年8月5日	ライセンス 27	著作権・パテント・商標権に関する手続きの特例措置		年 月 日
2019年8月5日	ライセンス 28	ベネズエラ政府との取引停止に必要な活動に対する特例措置	失効	2019年9月4日
2019年8月5日	ライセンス 29	ベネズエラ政府と特定の非政府系団体の活動に対する特例措置		年 月 日
2021年2月2日	ライセンス 30 A	ベネズエラの港湾・空港オペレーションに対する特例措置		年 月 日
2023年1月9日	ライセンス 31 B	ベネズエラ国会と特定の関係者との取引に対する特例措置		年 月 日
2019年8月5日	ライセンス 32	在ベネズエラ米国人の生活維持に必要な取引に対する特例措置		年 月 日
2019年8月5日	ライセンス 33	ベネズエラでの緊急空輸・緊急着陸に対する特例措置		年 月 日
2019年11月5日	ライセンス 34 A	ベネズエラ政府関係者への取引に対する特例措置		年 月 日

(出所) 米国 外国資産管理局 (OFAC) サイトよりベネインベストメント作成

表： 米国政府によるベネズエラ制裁ライセンスリスト

2024年12月22日

最新更新日	ライセンス	概要	状況	期限
2019年11月5日	ライセンス 35	ベネズエラでの通常活動に必要な取引に対する特例措置		年 月 日
2020年3月12日	ライセンス 36 A	Rosneft Trading、TNK Internationalとの取引に対する特例措置	失効	2020年5月20日
2020年6月18日	ライセンス 37	Delos Voyager、Romina Maritime Coとの取引に関する特例措置	取消	2020年7月21日
2020年11月30日	ライセンス 38	CEIECとの取引に関する特例措置	失効	2021年1月14日
2023年6月14日	ライセンス 39 B	新型コロナウイルス感染拡大防止のための取引に対する特例措置	失効	2024年6月14日
2024年7月8日	ライセンス 40 C	石油液化ガス（家庭用ガス）の輸出・再輸出に対する特例措置		2025年7月8日
2022年11月26日	ライセンス 41	Chevronのベネズエラでの合併会社取引に対する特例措置		年 月 日
2023年5月1日	ライセンス 42	ベネズエラ国会及び関係者との取引・合意に対する特例措置		年 月 日
2024年1月29日	ライセンス 43 A	CVGの金開発公社（Minarven）を含む取引に対する特例措置	失効	2024年2月13日
2024年4月17日	ライセンス 44 A	ベネズエラでの石油・ガス分野の取引に対する特例措置	失効	2024年5月31日
2024年2月29日	ライセンス 45 B	ベネズエラ国営航空会社の特定送還手続きに対する特例措置		年 月 日

（出所）米国 外国資産管理局（OFAC）サイトよりベネインベストメント作成

3. ベネズエラ債券・経済指標の増減（12月20日時点）

銘柄	利率	満期	BID	ASK	平均	先週比
2018-I	13.625	2018/8/15	16.45	17.4	16.93	△ 1.17
2018-II	13.625	2018/8/15	15.75	17.2	16.48	△ 2.08
2018	7	2018/12/1	11.1	12.4	11.75	△ 1.26
2019	7.75	2019/10/13	12.4	13.55	12.98	0.00
2020	6	2020/12/9	11.5	12.75	12.13	△ 0.21
2022	12.75	2022/8/23	15.3	16.5	15.90	0.00
2023	9	2023/7/5	13.6	14.75	14.18	△ 0.35
2024	8.25	2024/10/13	13.1	14.4	13.75	△ 1.26
2025	7.65	2025/4/21	13.15	14.35	13.75	△ 0.18
2026	11.75	2026/10/21	15.7	16.9	16.30	△ 0.15
2027	9.25	2027/9/15	15.35	16.55	15.95	△ 1.24
2028	9.25	2028/5/7	13.9	15	14.45	△ 0.86
2031	11.95	2031/8/5	15.3	16.6	15.95	△ 1.24
2034	9.375	2034/1/13	15.65	16.95	16.30	△ 0.91
2038	7	2038/3/31	13.05	14.35	13.70	△ 1.08
電力債 2018	8.5	2018/4/10	5.75	7.75	6.75	0.00

	利率 %	満期	BID	ASK	平均	先週比
2020	8.5	2020/10/27	87.1	88.75	87.93	0.54
2021	9	2021/11/17	9.15	10.65	9.90	△ 7.69
P 2022	12.75	2022/2/17	11.1	12.3	11.70	1.52
D 2022(N)	6	2022/10/28	8.75	10.15	9.45	2.72
V 2024	6	2024/5/16	10.2	11.4	10.80	1.65
S 2026	6	2026/11/15	10.1	11.4	10.75	0.70
A 2027	5.375	2027/4/12	10.25	11.55	10.90	2.11
2035	9.75	2035/5/17	11.1	12.25	11.68	1.74
2037	5.5	2037/4/12	10.05	11.5	10.78	0.94

	百万ドル	先週比
外貨準備	10,170	△ 0.26

為替レート	ボリ／ドル	先週比
両替テーブル	51.54	2.40
並行レート	64.90	11.90

（出所）Avsecurity、ベネズエラ中央銀行、Dolarparalelo_Oficial

解説

今週の前半は PDVSA 社債を中心にベネズエラ債は大きく上昇した。

PDVSA 社債については、一時 2024 年 8 月以来の高値まで回復した。

しかし、その後利益確定のためか売りが増え、最終的にベネズエラ国債は先週比でマイナス、PDVSA 社債については微増にとどまった。

ただし、PDVSA 2021 については、12月20日に大きく下げて先週比 7.69% 減となっている。

為替レートについては、「公定レート（両替テーブル）」「並行レート」ともにボリバル安の傾向が続いているが、並行レートについては先週比 11.9% 増とボリバル安が加速している。

以上